

## はじめに

大滝ダム貯水池斜面再評価検討委員会は、大滝ダム試験湛水中に生じた白屋地区での事象を踏まえ、白屋地区以外の貯水池斜面において、より詳細な地形・地質調査を実施し、貯水池斜面の安定性の再評価を行うことを目的として、近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所長の委嘱により発足した。

上記目的を達成するため、まず平成17年3月25日の第1回委員会において最新の調査手法を用いた再評価の方針を策定した。この方針に基づいて広域調査を実施し、2回の現地検討会および平成17年5月26日の第2回委員会において詳細調査候補地として大滝・寺尾・迫・白屋上流・井戸地区の5箇所を抽出した。続いて詳細調査を実施し、調査の進展に合わせ5回のコア観察・現地踏査、11回の打ち合わせを実施して、白屋地区から得られた新たな知見を考慮し、斜面の再評価を行ってきた。

この結果、寺尾、白屋上流、井戸の3箇所については、ダムの貯水による影響はないと判断された。また、大滝地区の貯水に対応した前面すべりおよび迫地区の下部すべりは、ダムの貯水による影響が懸念され、対策が必要と判断された。そのため、本委員会においてその基本方針を提案することとした。

平成18年3月30日の第3回委員会において詳細調査結果について審議し、貯水池斜面の再評価を行った。今回、委員会における一連の検討結果を取りまとめ、提言書を提出する。

平成18年3月30日

### 大滝ダム貯水池斜面再評価検討委員会

#### 構成

委員長	京都大学防災研究所教授	千木良 雅弘
委員	(社)日本地すべり学会副会長	吉松 弘行
〃	独立行政法人土木研究所地質官	平野 勇
〃	国土交通省国土技術政策総合研究所ダム研究室長	安田 成夫
〃	独立行政法人土木研究所上席研究員(地質)	佐々木 靖人
〃	独立行政法人土木研究所上席研究員(地すべり)	藤澤 和範